

## 事務事業の見直し意見

### No36 IKOMA SUN FESTA

総合評価	IKOMA SUN FESTA については見直し
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 来場者が多く、アンケート結果から「生駒のイメージが良くなった人の割合」も高いことから、イベントとしては一定の成果が見られる。</li><li>・ しかし、本事業の目的である「市民のシビックプライドの醸成」と「市外の方の関心度・イメージの向上」については、物販が中心のイベント内容が「生駒市民としてのシビックプライドを醸成する」ものとは判断し難く、目的とイベント内容が合っていない。また、年1回、1日だけのイベントで、市民のシビックプライドの醸成につながるか疑問である。</li><li>・ 生駒のシンボルである生駒山でイベントを実施することには意味がある。このイベントを目的に沿ったものにするためには、イベントの来場者に、豊かな自然を感じてもらい、生駒らしさとはなにか、生駒のどこが好きかを考えてもらう機会とすべきであり、市の事業をPRする場を設けるなど、他課と連携した仕掛けづくりが必要である。</li><li>・ 厳しい財政状況の中、事業の精査・見直しが求められており、本来市民力を期待すべきである本イベントを、市が開催する必要性について見直すべきである。</li><li>・ 更なる生駒の魅力の発信のためには、全てを業者に委託するのではなく、実行委員会方式など、市民や事業者参加型の運営を検討し、市民や事業者が自発的に運営し、行政がバックアップする形とされたい。</li><li>・ シビックプライドを醸成するという目的のもと、市民がまちづくりに参加するきっかけとなるイベントとなるよう、担当課の提案のような、市民、事業者によるミニ SUN FESTA などを実施することで市民力を育て、将来的には、市民、事業者による SUN FESTA の運営につなげられたい。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業費については、委託料の削減や出店料の増収を図るとともに、参加者負担についても検討されたい。また、指定管理者へ支出している会場費についても再検討されたい。</li><li>・見直しは、地方創生推進交付金が終了となる令和3年度までにされたい。</li></ul>
担当課	いこまの魅力創造課
R1 予算額	5,498 千円